

関係代名詞

2. 目的格（共通する言葉が～を、～に、になる場合）

which — 先行詞（関係代名詞の前に来る単語）が物、動物のみ 省略可
次の例文で考えよう。

This is a sad story. I can't forget it.

上の2文を1文にする時の方法。

- ① 2文目の中に1文目の言葉を説明している単語（共通している単語）を探す。
- ② a sad story と2文目の it だとわかる。
- ③ it を消してみる。 it
- ④ 1文目の共通している単語(a sad story)のすぐ後ろに関係代名詞の which を置く。
- ⑤ This is a sad story (**which**) I can't forget.
(これは私が忘れることができない悲しい物語です。)

問題をしてみよう

Show me your bag. You bought it in America. 1文にしてみよう。解答は後日。

that — 先行詞（関係代名詞の前に来る単語）が人、物、動物 省略可

that は先行詞が何でも可能なので、which と代替が可能。

実際1文にしてみよう。

This is a computer. I use it every day. 1文にしてみよう。解答は後日。

目的格の関係代名詞の用法はわかりましたか。目的格の関係代名詞には主格の who に相当する先行詞が人だけという語はありません。

質問があれば英語科教師まで。